

kkj お勧めガイドシリーズの最新版 脱炭素社会を目指す住まいづくりのための お勧め建材ガイド・設備ガイド（3地域編）をセットで公開

- 近い将来の ZEH の標準化や GX 志向型住宅の取組みの推進を見据え、省エネ基準からより高い省エネ性能までを実現する住宅の仕様と具体的な環境共生住宅推奨部品の組合せを提案
- 『建材ガイド』では、3段階の断熱等性能を満たす断熱材・開口部材等の組合せ、『設備ガイド』では、温暖地版で取り上げた一般的な設備に、寒冷地に特徴的な設備を加えた設備機器の組合せと一次エネルギー消費量の目安を紹介

一般社団法人 環境共生住宅まちづくり協会（会長：竹中宣雄、以下「kkj」）は、我が国が目指す「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、住宅の省エネ基準への適合、ZEHの標準化、より省エネ性能の高い住宅の普及に貢献すべく、『脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め建材ガイド 3地域編』（以下、建材ガイド）の最新版と、新たに『脱炭素社会を目指す住まいづくりのためのお勧め設備ガイド 3地域編』（以下、設備ガイド）をセットで公開します。

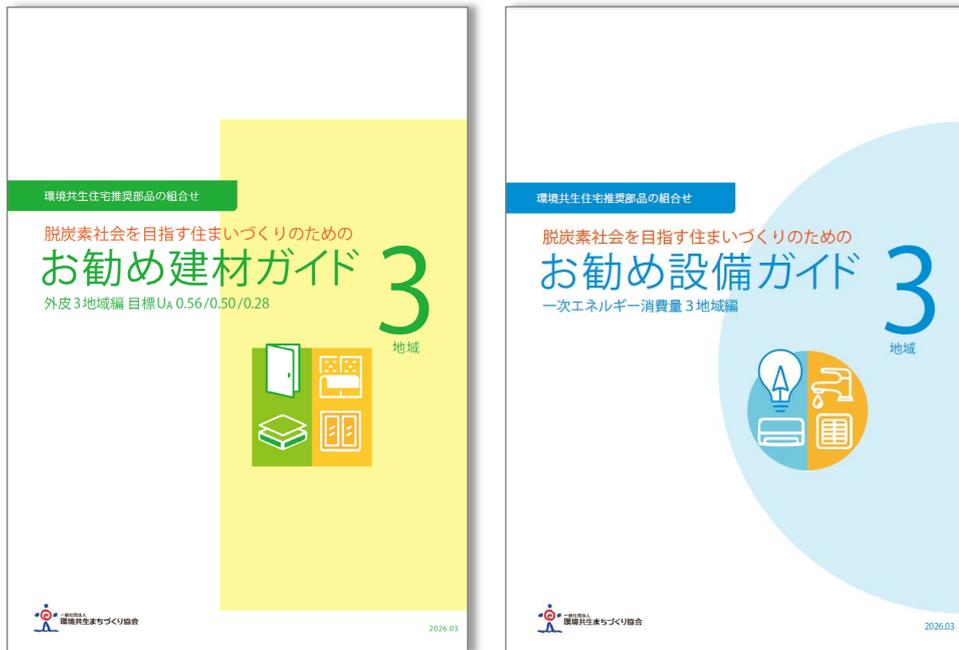
kkjは、環境共生住宅を構成する建材や設備の環境性能について独自の推奨基準を定め、これに適合する建材や設備を「環境共生住宅推奨部品」として推奨しています。さらに住宅の省エネ基準やZEH要件等を満たす環境共生住宅推奨部品の組合せをご紹介します。「kkjお勧めガイドシリーズ」を発行して環境共生住宅の普及推進を進めています。

「建材ガイド」では、GX志向型住宅の要件にも対応する品確法断熱等性能等級6、等級5（誘導基準・ZEH要件）、等級4（省エネ基準）の3つのレベルを満たす断熱材や開口部材等の環境共生住宅推奨部品の組合せを、充填断熱工法と外張断熱工法、付加断熱工法を対象に提案しています。

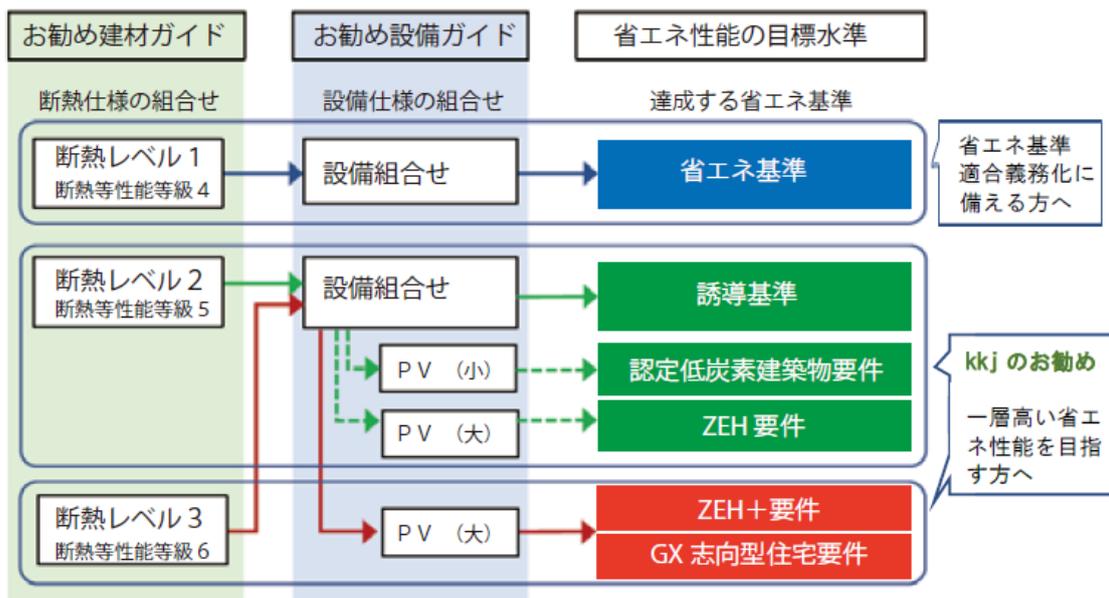
「設備ガイド」では、石油燃焼系熱源機や温水暖房用パネルラジエーターなども取り上げ、設備機器の環境共生住宅推奨部品の組合せに、「建材ガイド」で提案する3つのレベルの外皮性能を対応させた一次エネルギー消費量の算定結果を掲載しています。

それぞれのレベルに応じた具体的な環境共生住宅推奨部品の組合せについて、部品の種類と仕様まで具体的に掲載していますので、両ガイドをご覧ください。省エネ基準やZEH要件のほか、各種支援制度に定められた省エネ性能の基準を満たす外皮の仕様や設備機器の組合せの参考として、実際の設計業務にお役立ていただけます。

kkj では皆様の省エネルギー性能の高い住宅設計の一助となるよう、今後も「お勧め建材ガイド」「お勧め設備ガイド」を充実してまいります。



3 地域編の「お勧め建材ガイド」と「お勧め設備ガイド」



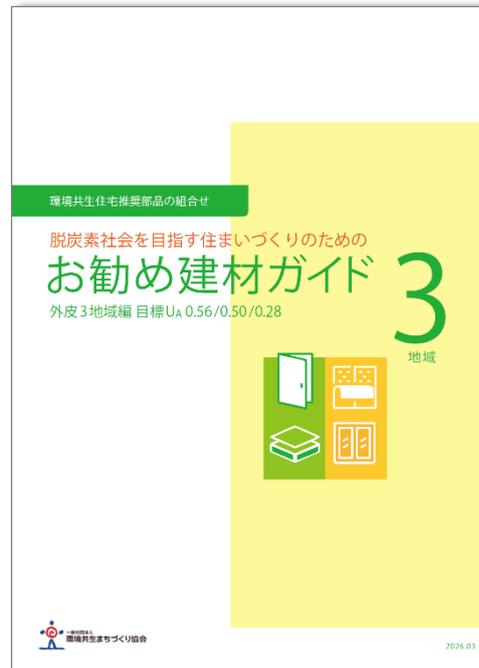
※認定低炭素建築物要件には、外皮性能、一次エネルギー消費量性能、創エネ導入量のほかにも要件があります。

両ガイドで提案する水準の組合せと各種エネ性能基準の関係

『脱炭素社会を目指す住まいづくりのための お勧め建材ガイド』の主な内容

1. はじめに
2. 外皮性能の基準
 - 1) 断熱性能
 - 2) 日射遮蔽性能
3. 建材選択のポイント
 - 1) 断熱材を選ぶ
 - 2) 窓を選ぶ
 - 3) 玄関ドアを選ぶ
4. お勧めする建材の組合せ
 - 1) ご紹介する3つの外皮性能レベル
 - 2) 記載事項
 - 3) 外皮性能レベルに応じた組合せ例一覧
 - 充填断熱工法：レベル1 (U_A 値 0.56 以下)
 - 付加断熱工法：レベル2 (U_A 値 0.50 以下)
 - 外張断熱工法：レベル1 (U_A 値 0.56 以下)
 - 外張断熱工法：レベル2 (U_A 値 0.50 以下)
 - 付加断熱工法：レベル3 (U_A 値 0.28 以下)
 - 4) 環境共生住宅推奨部品

5. 省エネルギー基準
 6. ZEHとLCCM住宅
 7. 算定条件
- kkjの出版物のご紹介



レベル3 等級6・ZEH+要件 付加断熱工法 対象地域：3地域

■性能

外皮平均熱貫流率	窓遮蔽の平均日射遮蔽係数	窓遮蔽の平均窓遮蔽係数
$U_A = 0.28$ [W/(㎡・K)]	$\eta_{AC} = 1.3$	$\eta_{AH} = 1.6$

【等級6・ZEH+要件3地域】
U_A値：0.28(W/㎡・K)以下
η_{AC}値：1.3以上 η_{AH}値：1.6以上(いずれも算定条件に準じて)

■仕様

天井 断熱材：高性能グラスウールGWHG20-35 t=400
下地材：石膏ボード t=9.5
○天井の断熱材の熱貫流率 11.4 [㎡・K/W]

外壁 断熱材：外張 高性能グラスウールGWHG20-35 t=105
外張 押出型ポリスチレンフォーム XPS30D t=50
または
外張 高性能グラスウールGWHG20-35 t=105
外張 フェノールフォーム1種2号CⅡ t=50
下地材：合板 t=19
○壁の断熱材の熱貫流率 5.6/5.8 [㎡・K/W]

玄関ドア 材：金属製断熱構造または樹脂製と金属の複合材料製
戸：金属製断熱構造
○玄関ドアの熱貫流率 1.30 [W/(㎡・K)]

窓 断熱構造：ダブルLow-E三層ガラス(A10mm以上又はK6mm以上)かつ断熱構造
○窓の熱貫流率 1.30 [W/(㎡・K)]
○窓の日射遮蔽係数 0.39

床 断熱材：縦立 押出型ポリスチレンフォーム XPS30D t=50
大引 押出型ポリスチレンフォーム XPS30D t=100
または
縦立 フェノールフォーム1種2号CⅡ t=45
大引 フェノールフォーム1種2号CⅡ t=90
土間上：木質繊維 押出型ポリスチレンフォーム XPS30D t=50
○床の断熱材の熱貫流率 6.6/6.8 [㎡・K/W]

仕上材：合板 t=12の上
木質繊維 t=12 または断熱材 t=55
○床の断熱材の熱貫流率 6.6/6.8 [㎡・K/W]

注：断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の厚さを考慮して算定した値を示しています。断熱材の厚さが異なる場合は、断熱材の熱貫流率を算定する必要があります。断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の熱伝導率と厚さを考慮して算定した値を示しています。断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の熱伝導率と厚さを考慮して算定した値を示しています。

付加断熱工法

厚さ (mm)	窓型
200+200	窓型
105	窓型
50	窓型
50	窓型
50+100	窓型
45+90	窓型
12	窓型
55	窓型

日射取得率
0.39%
0.39%
0.39%
0.39%

3地域編

品名	仕様	熱貫流率 [W/(㎡・K)]	日射遮蔽係数
断熱材	（LXLL）	1.30 ⁴	0.39 ⁵
	APW430 (YKK AP)	1.30 ⁴	0.39 ⁵
玄関ドア	プロノーバ2 (三協アルミ社)	1.30 ⁴	0.045 ⁵
	グランザル2 (LXLL)	1.30 ⁴	0.045 ⁵
窓	Inno Best D50 (YKK AP)	1.30 ⁴	0.045 ⁵
	Inno Best D70 (YKK AP)	1.30 ⁴	0.045 ⁵

注：断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の厚さを考慮して算定した値を示しています。断熱材の厚さが異なる場合は、断熱材の熱貫流率を算定する必要があります。断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の熱伝導率と厚さを考慮して算定した値を示しています。断熱材の熱貫流率算定は、断熱材の熱伝導率と厚さを考慮して算定した値を示しています。

【この件に関するお問い合わせ先】
 一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)
 事務局：長谷川
 Tel：03-6265-3242
 Fax：03-6265-3243
 E-mail：jimukyoku@kkj.or.jp

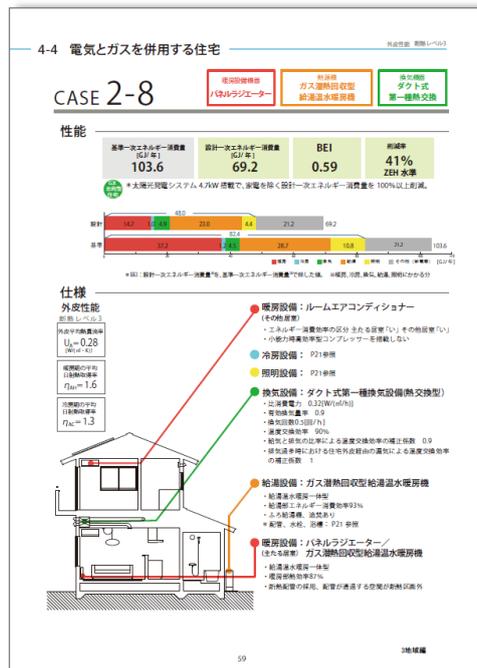
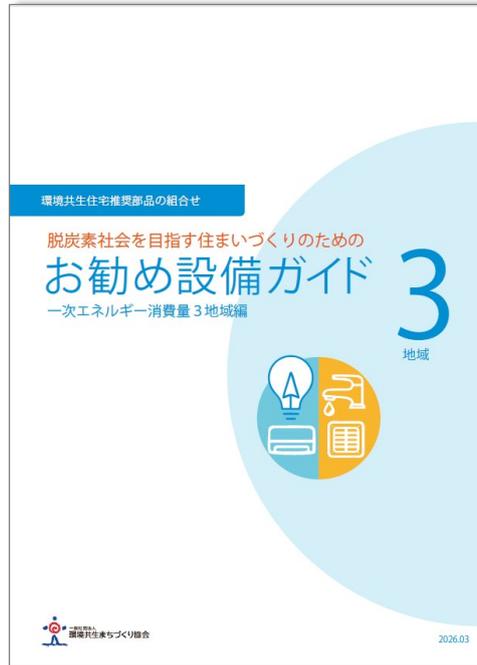
【お勧め建材ガイド ご購入方法】

お勧め建材ガイドはkkjホームページにて、ご購入いただけます。

https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/

『脱炭素社会を目指す住まいづくりのための お勧め設備ガイド』の主な内容

1. はじめに
 2. 住宅のエネルギー消費性能
 - 2-1 一次エネルギー消費量による評価
 - 2-2 一次エネルギー消費量の計算方法
 3. 設備機器選択のポイント
 - 3-1 暖冷房設備
 - 3-2 換気設備
 - 3-3 給湯設備
 - 3-4 照明設備
 - 3-5 コージェネレーション設備
 - 3-6 太陽光発電設備
 - 3-7 太陽熱利用給湯設備
 4. お勧めする設備機器の組合せ
 - 4-1 算定条件と掲載する設備機器
 - 4-2 記載事項
 - 4-3 全 Case に共通する設備
 - 4-4 電気とガスを併用する住宅
 - ① 外皮性能レベル1・レベル2の場合 (Case1-1~1-11)
 - ② 外皮性能レベル3の場合 (Case2-1~2-11)
 - 4-5 オール電化住宅
 - ① 外皮性能レベル1・レベル2の場合 (Case3-1~3-3)
 - ② 外皮性能レベル3の場合 (Case4-1~4-3)
 - 4-6 環境共生住宅推奨部品
 5. ZEH と LCCM 住宅
 6. 参考情報
 - 6-1 地域の区分
 - 6-2 年間の日射地域区分
 - 6-3 算定に用いた建物のプラン
- kkj の出版物のご紹介



【この件に関するお問い合わせ先】
 一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)
 事務局 : 長谷川
 Tel : 03-6265-3242
 Fax : 03-6265-3243
 E-mail : jimukyoku@kkj.or.jp

【お勧め設備ガイド ご購入方法】

お勧め設備ガイドは kkj ホームページにて、ご購入いただけます。

https://www.kkj.or.jp/contents/check_publication/books_kenzaiguide/